

大豊町の概要

位置 東経 133度37分 北緯 33度56分
面積 320.54平方杆 東西 32杆
南北 28杆 部落数 87
人口 11,924 男 5,748 女 6,176
世帯数 3,651 (12月末現在住民基本台帳調)



昭和49年1月25日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会
発行 大豊町中央公民館
印刷 高知印刷株式会社

財政事情を公表

昭和39年大豊町条例第28号(大豊町財政事情説明書の作成及び公表に関する条例)第3条第2項の規定により、昭和48年9月30日現在の財政事情を別表(3~4ページ)の通り公表致します

昭和48年12月1日

大豊町長 門田盛一郎

47年度

決算の内訳

審査意見書

昭和四十七年度の町一般会計並びに特別会計の決算審査は監査委員武田和夫、松岡春美の両氏により、昨年八月に行なわれ、審査意見書が町田町長に送付された。これによると健全財政を堅持しながらも、本町の財政事情には必ずしも楽観できないものがある。自治法の精神に則り、経費の節減と財源の確保に特に慎重を期するよう切望している。以下は審査意見及び決算内容の主なものである。

予算の執行適確

よう切望する。

昭和46年度の一時借入額は、一六、五〇〇千円でこれに対する利子は一、五九千五百円であり、47年度借入額は二七、〇〇〇千円で、46年度の約二倍。借入れ延口数においても二倍以上を数え、支払利子は三、八六九千円におよんでいる。又預金金利と対照する時支払利子が一〇〇余万円上廻っており運用面の厳しさは年毎に増している。

県の指導方針に基き、本町内規で交際費、食糧費の流用は認めない関係上一節需用費において、不用の建前から今後特別の場合を考慮し、研究、検討を望むものである。

ムタへの提言 賢い消費者 になりましょう

最近の物価高は、家計を苦しめる主婦にとっては頭の痛いことです。大豊町連合婦人会でも、ことしは使捨てや浪費を反省しようという「ムタをなくす運動」を進める模様です。

高知県消費生活センターでは「ムタへの提言」として次のことを提唱しています。

一、買い急ぎを止めましょう
二、買ったものは大事に使いましょ
三、広告や宣伝にまどわされまいようになししょう
四、ゴミになる包装は買わないようになししょう
内容本位の買い方をし、お買い物を必ず持つて出かけましょ
五、豊かさに慣れた私達ですが、不用品の交換などあらゆる家庭管理の面から検討して、物価高に処すると共にその中心の生活意識を精神的な豊かさへの価値観にかえていくことが必要と思われましょ

経費の節減と 財源確保に慎重を

経費の節減と 財源確保に慎重を

上記のような決算であり、健全財政を堅持されていることは良好と思料され、八千円となり、自ら投資的経費の制限をせられる中でりては特に慎重を期せられ、次に費目流用により、

2. 昭和47年度歳入歳出予算に対する決算の状況

歳入		(単位千円)			
区 分	予 算 額	調 定 額	収入済額	予算に対する収入率%	調定に対する収入率%
1. 町 税	95,864	101,406	98,965	103.23	97.59
2. 自動車重量譲与税	4,800	4,569	4,569	95.19	100.00
3. 自動車取得税交付金	7,732	7,507	7,507	97.09	100.00
4. 地方交付税	348,587	348,587	348,587	100.00	100.00
5. 交通安全対策特別交付金	953	953	953	100.00	100.00
6. 分担金及び負担金	22,482	19,122	19,122	85.05	100.00
7. 使用料及び手数料	3,506	3,804	3,805	108.51	100.00
8. 国庫支出金	113,602	69,638	96,638	85.07	100.00
9. 県支出金	173,133	170,038	170,038	98.21	100.00
10. 財産収入	94,219	95,136	95,136	100.97	100.00
11. 寄 附 金	22,653	12,417	12,417	54.81	100.00
12. 繰 入 金	5,461	5,272	5,272	96.54	100.00
13. 繰 越 金	23,150	23,149	23,149	100.00	100.00
14. 諸 収 入	5,003	5,675	5,675	113.43	100.00
15. 町 債	205,200	186,300	186,300	90.79	100.00
歳入合計	1,126,345	1,080,575	1,078,133	95.72	99.77

年度後半セメント不足等により一部工事関係で、繰延べをよきなくされたため、国庫支出金の収入率は85%となり、従って寄附金も収入率が低下となった。

歳出 (単位千円)

区 分	予 算 額	支出済額	予算に対する支出割合%
1. 議 会 費	22,001	21,834	99.24
2. 総 務 費	142,556	140,425	98.51
3. 民 生 費	97,124	88,065	90.67
4. 衛 生 費	45,985	43,513	94.62
5. 農 林 水 産 業 費	261,502	256,493	98.08
6. 商 工 費	3,590	3,193	88.94
7. 土 木 費	152,862	130,791	85.56
8. 消 防 費	15,614	15,381	98.51
9. 教 育 費	201,413	188,317	93.50
10. 災 害 復 旧 費	133,283	108,740	81.59
11. 公 債 費	50,114	49,678	99.13
12. 諸 支 出 金	1	0	0
13. 予 備 費	300	0	0
歳出合計	1,126,345	1,046,430	92.90

歳出においても歳入と同様で土木費、災害復旧費共に執行率が少し低下となった。

自衛官募集中

☆陸・海・空☆

(18才~24才)

毎日、受付、試験
毎月入隊

詳細は役場住民課又は自衛隊高知地方連絡部へお問合せ下さい

国民健康保険特別会計について

1. 昭和47年度歳入歳出決算額

歳入決算額	129,239千円
歳出決算額	123,572千円
歳入歳出差引額	5,667千円

上記の通り、5,667千円の黒字決算であるが、但し昨年度繰越額は10,723千円であり、単年度実質収支は5,056千円の不足を生じており、更に診療費未請求分(医師1人)昭和45年11月、12月分、昭和46年1月、2月、3月、4月、5月、7月、8月、9月、10月、11月、12月分、昭和47年1月、10月分、計15ヶ月分推定額約3,000千円と見るとき、不足額は約8,000千円余となり、保険給付費は1ヶ月分概ね8,000千円前後であったものが本年1月より老人医療費無料化に伴い一躍10,000千円を突破し、現在12,000千円前後であり、国保会計の前途は予断を許さないとと思われる。又、国保税の滞納額は現年度、過年度を合せ6,292千円となっている。これが整理に極力努力せられると共に町民の大多数が加入している国保運営に関しては今後特に慎重を期せられるよう望むものである。

2. 保険税の徴収状況
 (単位千円)

区分	現年度		滞納繰越分		計	
	収入額	徴収率%	収入額	徴収率%	収入額	徴収率%
45	31,569	95.88%	904	24.07%	32,473	88.53%
46	39,922	95.70%	660	17.87%	40,582	89.37%
47	35,411	93.98%	699	14.81%	36,111	86.74%

簡易水道事業特別会計について

1. 昭和47年度歳入歳出決算額

歳入決算額	12,448千円
歳出決算額	11,536千円
歳入歳出差引額	911千円

2. 歳入歳出の状況
 (単位千円)

歳入		歳出	
区分	金額	区分	金額
水道使用料	4,349	総務費	2,518
繰入金	3,700	水道管理費	7,275
県支出金	1,605	公債費	1,744
繰越金	391	予備費	0
町債	2,400		
雑入	3		
計	12,448	計	11,537

上記のとおり911千円と黒字決算がなされたことは良好と認められるが、46年度一般会計よりの繰入額は1,200千円であり、47年度は約3倍3,700千円に及び更に町債2,400千円となっている。
 これは、舟戸簡易水道増強工事、角茂谷簡易水道送水管布設工事等によるものと思料される。水道会計人件費は、2,245千円で公債費は1,744千円であり、合計3,989千円と繰入額は約2,000千円下回っているも、独立採算制を強く要望される本会計であるゆえ今後繰入額の漸減に研究と努力を望むものである。

代替輸送事業特別会計について

1. 昭和47年度歳入歳出決算額

歳入決算額	3,268千円
歳出決算額	3,064千円
歳入歳出差引額	204千円

上記の通り204千円と黒字決算になっておるが、昨年度繰越金389千円であり、単年度実質収支は若干赤字の傾向にあるので、今後の運営に関しては特に留意せられたい。

2. 歳入歳出の状況
 (単位千円)

歳入		歳出	
区分	金額	区分	金額
県支出金	0	民生費	3,064
繰入金	0		
諸収入	2,878		
繰越金	390		
計	3,268		3,064

最近2ケ年における歳入決算に対する各款の構成比

歳入	46年度		47年度	
	決算額	構成比%	決算額	構成比%
1.町税	86,340	13.28	98,965	9.18
2.自動車重量譲与税	1,015	0.16	4,569	0.42
3.自動車取得税交付金	7,164	1.10	7,507	0.70
4.地方交付税	280,665	43.18	348,587	32.33
5.交通安全対策特別交付金	408	0.06	953	0.09
6.分担金及び負担金	3,725	0.57	19,122	1.78
7.使用料及び手数料	2,519	0.39	3,804	0.35
8.国庫支出金	80,186	12.34	96,638	8.96
9.県支出金	62,332	9.59	170,038	15.77
10.財産収入	9,141	1.41	95,136	8.82
11.寄附金	11,571	1.78	12,417	1.15
12.繰入金	3,320	0.51	5,272	0.49
13.繰越金	9,476	1.46	23,149	2.15
14.諸収入	5,992	0.92	5,675	0.53
15.町債	86,200	13.25	186,300	17.28
計	650,054	100.00	1,078,133	100.00

上記の通り歳入第1位は地方交付税で前年度より、77,922千円の増、つづいて町債は100,100千円の増を示している。
 県支出金も107,706千円の増となっているが、県補助金等が一部46年度分より47年度へ繰延べされたためである。

歳出	46年度		47年度	
	決算額	構成比%	決算額	構成比%
1.議会費	17,366	2.77	21,834	2.09
2.総務費	112,617	17.96	140,425	13.42
3.民生費	48,565	7.75	88,065	8.42
4.衛生費	25,067	4.00	43,513	4.15
5.農林水産業費	133,585	21.31	256,493	24.51
6.商工費	897	0.14	3,193	0.30
7.土木費	71,183	11.35	130,791	12.49
8.消防費	14,343	2.29	15,381	1.46
9.教育費	114,008	18.19	188,317	18.00
10.災害復旧費	52,378	8.36	108,740	10.40
11.公債費	36,894	5.89	49,678	4.76
12.諸支出金	0		0	
13.予備費	0		0	
計	626,904	100.00	1,046,430	100.00

歳出第1位は農林水産業費であり、一般建設費等の大幅事業促進によるもので122,908千円の伸びを示している。ついで教育費においては、立川小学校の建築、大豊中学校のプール設置、民俗資料館の建築により、74,309千円の伸びとなっている。47年度は全町に及ぶ災害も大きく、災害復旧に要する費用も多額となり、昨年度に比し56,362千円増となり、従って土木費においても59,608千円の伸びを示している。
 前述の通り、本町財政は年々厳しさを増しているをもって消費的経費の抑制を図り投資的経費の確保に努力すると共に、健全財政を堅持し重要施策を遂行して最大の効果を挙げられるよう期待するものである。

公営事業の経理状況

1. 昭和48年度国民健康保険特別会計予算執行状況

歳入の部 (単位円)					
科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収入率
1. 国民健康保険税	47,904,000	58,613,560	16,881,480	41,732,080	35.24
2. 使用料及手数料	51,000	7,910	7,910	0	15.51
3. 国庫支出金	82,028,000	31,669,000	31,669,000	0	38.61
4. 県支出金	1,000	0	0	0	0
5. 繰入金	2,000	0	0	0	0
6. 繰越金	200,000	0	0	0	0
7. 諸収入	5,574,000	1,132,831	1,132,831	0	20.32
歳入合計	135,760,000	91,423,301	49,691,221	41,732,080	36.60

歳出の部 (単位円)				
科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率
1. 総務費	7,998,000	3,447,839	4,550,161	43.11
2. 保険給付費	121,748,000	51,697,317	70,050,683	42.46
3. 保険施設費	241,000	45,775	195,225	18.99
4. 基金積立金	1,000	0	1,000	0
5. 公債費	60,000	0	60,000	0
6. 諸支出金	4,812,000	4,738,880	73,120	98.48
7. 予備費	900,000	0	900,000	0
歳出合計	135,760,000	59,929,811	75,830,189	44.14

2. 48年度簡易水道会計予算執行状況

歳入の部 (単位円)					
科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収入率
1. 使用料及手数料	3,929,000	1,394,040	1,394,040	0	35.48
2. 繰入金	4,764,000	2,000,000	2,000,000	0	41.98
3. 国庫支出金	5,600,000	0	0	0	0
4. 県支出金	1,190,000	0	0	0	0
5. 繰越金	510,000	0	0	0	0
6. 町債	5,400,000	0	0	0	0
歳入合計	21,393,000	3,394,040	3,394,040	0	15.87

歳出の部 (単位円)				
科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率
1. 総務費	2,476,000	1,295,769	1,180,231	52.33
2. 水道費	16,790,000	8,302,509	8,487,491	49.45
3. 公債費	1,927,000	1,076,190	850,810	55.85
4. 予備費	200,000	0	200,000	0
歳出合計	21,393,000	10,674,468	10,718,532	49.90

3. 48年度代替輸送会計予算執行状況

歳入の部 (単位円)					
科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収入率
1. 県支出金	1,000	0	0	0	0
2. 繰入金	304,000	0	0	0	0
3. 諸収入	3,175,000	1,481,678	1,481,678	0	46.67
4. 繰越金	1,000	0	0	0	0
歳入合計	3,481,000	1,481,678	1,481,678	0	42.56

歳出の部 (単位円)				
科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率
1. 民生費	3,460,000	1,652,925	1,807,075	47.77
2. 予備費	21,000	0	21,000	0
計	3,481,000	1,652,925	1,828,075	47.48

48年度一般会計予算執行状況

(昭和48年9月30日現在)

歳入の部 (単位円)					
科 目	予 算 額 _A	調 定 額	収 入 額 _B	残 _(A-B) 額	予算額に対する収入率
1. 町税	96,049,000	95,219,658	62,239,753	32,979,905	64.80
1. 町民税	18,635,000	23,247,502	12,949,440	10,298,062	69.49
2. 固定資産税	46,831,000	55,604,880	35,890,150	19,714,730	76.64
3. 軽自動車税	3,604,000	4,009,720	3,289,080	720,640	91.26
4. たばこ消費税	17,500,000	7,678,600	6,326,180	1,352,420	36.15
5. 電気ガス税	5,300,000	1,975,335	1,975,335	0	37.27
6. 木材引取税	4,179,000	2,703,621	1,809,568	894,053	43.30
2. 地方譲与税	5,000,000	1,350,000	1,350,000	0	27.00
3. 自動車取得税交付金	8,000,000	3,751,000	3,751,000	0	46.89
4. 地方交付税	397,276,000	291,693,000	291,693,000	0	73.42
5. 交通安全対策特別交付金	1,000,000	0	0	0	0
6. 分担金及負担金	27,783,000	12,383,958	12,383,958	0	44.57
7. 使用料及手数料	3,493,000	2,134,244	1,956,844	186,400	56.02
8. 国庫支出金	120,725,000	12,599,653	12,599,653	0	10.44
9. 県支出金	144,596,000	2,543,318	2,543,318	0	1.76
10. 財産収入	61,153,000	1,046,500	1,046,500	0	1.71
11. 寄付金	18,451,000	2,033,510	2,033,510	0	11.02
12. 繰入金	3,561,000	0	0	0	0
13. 繰越金	30,196,000	0	0	0	0
14. 諸収入	7,923,000	2,725,838	2,725,838	0	34.40
15. 町債	195,700,000	400,000	400,000	0	0.20
歳入合計	1,120,906,000	427,889,679	394,723,374	33,166,305	35.21

歳出の部 (単位円)				
科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率
1. 議会費	23,008,000	10,333,145	12,674,855	44.91
2. 総務費	123,486,000	60,280,253	63,205,747	48.82
3. 民生費	125,251,000	87,251,192	37,999,808	69.66
4. 衛生費	39,349,000	13,167,226	26,181,774	33.46
5. 農林水産業費	214,560,000	25,504,297	189,055,703	11.89
6. 商工費	4,182,000	2,834,112	1,347,888	67.77
7. 土木費	118,127,000	20,205,786	97,921,214	17.11
8. 消防費	18,619,000	12,015,440	6,603,560	64.29
9. 教育費	233,512,000	111,723,559	121,788,441	47.84
10. 災害復旧費	145,003,000	17,852,537	127,150,463	12.29
11. 公債費	73,105,000	33,615,225	39,490,775	45.98
12. 諸支出金	1,000	0	1,000	0
13. 予備費	2,333,000	0		
歳出合計	1,120,906,000	394,782,772	726,123,228	35.22

住民負担の状況

(9月末大豊町人口11,964人)

科 目	予 算 額	予算総額に対する構成比	住民一人当たり負担額
町民税	18,635,000円	1.66%	1,558円
固定資産税	46,831,000	4.18	3,914
軽自動車税	3,604,000	0.37	301
分担金及負担金	27,783,000	2.48	2,323
寄付金	18,451,000	1.65	1,542
計	115,304,000	10.28	9,638

(20)

橋詰延壽

北村俊夫さんは、今、高い時、東京で医学を勉強した。そして二十四歳で卒業した。そして、北山越えに帰高したのが、明治十二年（一八七九）二月である。

判決を受けた。その時も有隣は全く茫然自失していたと言ふ。しかし知人がそのころを背をばんと打ったところから、やっと正気を取りもど

基 金 の 種 類	基 金 に 属 す る 残 高
大豊町国民年金印紙等購入基金	5,000,000
“ 奨学資金貸付基金	1,996,057
“ 国民健康保険基金	0
“ 政 調 整 基 金	5,745,871
“ 職員の給与等支給調整基金	0